



～おしえて!! 認知症～ = 第11回 =

9月は認知症月間です

認知症の方を
あたたかく見守る

認知症サポーター養成講座

無料で講師を派遣します。企業・自治会・グループ単位でお申込みください。

申込み：潮来市地域包括支援センター
(潮来市社会福祉協議会内) ☎63-1288

オレンジ色の
ステッカーが目印

認知症サポーターのいるお店

認知症についての正しい知識や対応方法を理解する「認知症サポーター養成講座」を受講した「認知症サポーター」がいる事業所で、目印として次のステッカーを掲示しています。



気軽におしゃべり
しませんか?

いたこハートカフェ

認知症の家族を支援している方、認知症の理解を深めたい方、介護方法を相談したい方など、ぜひご来店ください。

認知症カフェ「いたこハートカフェ」次回開催予定

日時：10月12日(水)
午後2時～3時30分

定員：10名(要予約)

場所：グループホームこころ内「カフェつぐみ」
(潮来市日の出1-21-1)

申込み：グループホームこころ
☎80-9055

○潮来図書館に行こう……………

認知症コーナーを設け、図書の貸し出しを行っています。



○認知症地域支援推進員にご相談ください。……………

潮来市地域包括支援センター ☎63-1288

高齢者総合相談センター福楽園 ☎64-6767

高齢者総合相談センターあやめ ☎80-2223

グループホームこころ ☎80-9055

まちづくり・潮来の自然と歴史を知る

潮来市の誇れる自然

全国の大学生向け実習

「巨大湖の生態系と環境問題」が大盛況!

第74回

茨城大水圏環境フィールドステーション(潮来市大生)は、全国の大学生たちが湖の環境問題について体験的に学べる施設として、文部科学省に認定されている国内唯一の臨湖実験所です。夏休みには霞ヶ浦・北浦でフィールドワークをしたい学生たちが訪れてくれます。

8月16～20日の公開実習「巨大湖の生態系と環境問題―霞ヶ浦での調査・実験から理解する―」には、湖沼の生きものや生態系、環境問題などに興味がある宮城教育大、埼玉大、東邦大、東京農工大、東京工業大、県立広島大、神戸大、鹿児島大の学生たち10名が参加しました。この実習の教材は、霞ヶ浦・北浦の水、生きもの(外来種や在来種)、生態系、地形・地質です。

1日目は外来魚アメリカナマズを題材に外来種問題について学んでから、駆除釣り大会を開催。2日目は船で湖の沖に出て、水質やプランクトン、底生動物(ユスリカの仲間)の調査でした。3日目は湖に立ち入って魚類調査を体験し、絶滅危惧種クルマメサヨリや国内外来種ハスなど魚類14種、エビ類2種の生息を確認しました。さらに実験室での食性調査で、食う・食われるの関係系を把握し、食物網も描きました。4日目は霞ヶ浦が海であった数万年前から現在までの環境変遷について学びました。5



船で水質やプランクトンの調査



ヨシ帯での調査体験



絶滅危惧種クルマメサヨリ



琵琶湖から来た外来種ハス

日目の成果発表会では、学生たちがこの実習で体感した自然環境の豊かさとその保全、人為的な環境負荷や外来魚などの水環境問題の解決策、そして地域の未来について議論し、最後まで大盛況でした。地域のみならず、ご協力により、徹底した感染対策のもとで実習を実施することができました。学生たちが地域の魅力についても学ぶ大変良い機会となりました。ご支援いただいた方々に心より感謝申し上げます。

茨城大学地球・地域環境共創機構水圏環境
フィールドステーション
碓井 星二・加納 光樹